



議会だより

2010.10
vol.28

あじかわぐち2



精進小学校最後の運動会

- 副議長就任あいさつ 2P
- 委員会等の新構成 3P
- こういうことを決めました 4P
- 決算特別委員会 5~9P
- 代表・関連質問 10~11P
- 一般質問 12~13P
- 窓・編集後記 14P

第3回定例議会 議会内の役員改選

副議長に 渡辺 元春氏

子ども未来創造館

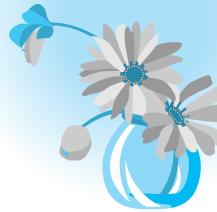
第3回定例議会最終日の9月24日に、議会内の役員改選が行われ、副議長に渡辺元春議員が選任されました。

◆副議長就任あいさつ



富士河口湖町議会 副議長

渡辺 元春



もとより浅学菲才の私ですが、就任させて頂いた以上は全精力を傾注し、この大任を果たして参りたいと 思います。

私たち議員は、町民の代表であることを常に自覚していることと同時に、議会運営にあたっては中立公平、無私の立場で円滑な運営に努力していく所存です。

執行部と共に、活力ある世界に誇れる「観光立町＝富士河口湖町」として発展していくよう努力して参りたいと思います。

皆様のご健康と富士河口湖町の益々の発展を祈念し、就任の挨拶とさせます。

副議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

このたびの九月定例会において議員各位のご推挙を頂き、副議長に就かせて頂くことになりました。誠に身に余る光栄と存じ感激致しております。

議長の補佐役、議会の運営と、その使命と責任の重さを痛感しております。

町の予算が どう使われたかを審議

平成21年度決算



委員長 駒谷 隆利 議員

副委員長 堀内 昭登 議員

一般会計

歳入総額

歳出総額

11,560,261,543円

11,231,543,412円

決算特別委員会

一般会計

総務課 関係

福祉推進課長 町外の保育所への保育委託である。

その他に船津、小立の保育所の耐震診断委託、足和田保育所児童送迎のバスの委託料、事務機器の保守管理委託料などが主なもの。

質問 21年度決算における起債の利率の一
番高いもの、利率の一一番低いもの、及び借
入先は。

総務課長 起債の最低金利は0.2%、山梨県の貸付金である。最高金利は6.2%で、平成元年と平成2年に起債した政府資金で旧簡保資金、それから財政融資資金である。

質問 高い金利を解消するため、繰上償還をして、市中銀行から借りなおしたらどうか。

総務課長 政府資金については、基本的に繰上償還ができない。

質問 繰越金を繰上償還へ使うことは考えてないか。

財政係主幹 当町では減債基金に積んで公債費を緩和する措置をとっている。

福祉推進課長 対象となる船津保育所と小立保育所は必要な耐震診断が済んでいる。

質問 耐震診断の委託があるが、実施状況はどうなつてあるか。

福祉推進課長 収入未済額は610万6,880円で、世帯数については63世帯である。

質問 保育費の収入未済額の内容について詳しい説明を。

福祉推進課長 収入未済額は610万6,880円で、世帯数については63世帯である。

質問 平成21年度末で保育所で働いている総数及び正職員、臨時職員の人数は。

福祉推進課長 保育士の人数は、正規職員が54名、嘱託が6名、臨時職員が30名、パートが2名、合計で92名である。栄養士は正規職員が3名、介護士が嘱託で1名、

調理員は正規職員が5名、嘱託が1名、臨時職員が11名、合計17名である。

質問 臨時職員、パート、嘱託も、正規職員と同じような募集方法をとっているのか。

町長 正規職員が退職することによる穴埋めするという形を基本的にとっている。

質問 扶助費の支出内容の細かな事由は。

福祉推進課長 扶助費の内訳は、重度心身障害者の医療費助成金・自立支援医療費・心身障害者の福祉手当・介護給付訓練等給付費・地域生活支援事業費等である。

質問 保育所費の委託料とはどのような内容のものか。

健康増進課 関係

質問 母子保健事業の妊婦一般健診は14回だが、1回当たりの補助額はいくらか。

健康増進課長 健診の補助額は1回当たり6千円である。

質問 委託料の主要なものは何か。

健康増進課長 委託料について大きいものは、妊婦健診委託料が1千769万946円、乳児医療助成事業の審査事務委託料が181万192円、在宅当番医運営委託料が90万6000円、電算のシステム改修費が69万3000円、難病患者の居宅生活支援事業が36万3540円となっている。

質問 健康公園管理費の委託料の内容は。

健康増進課長 健康公園のエリアの植木の手入れなどをシルバー人材センターに委託している委託料である。

質問 女性特有がん検診の、21年度の受診結果を健康増進課としてはどうようにとらえているか。

健康増進課長 せつかくの助成が乳がん検診率39%、子宮頸がん検診率28%ということは

検診風景



不本意に思っている。22年度については検診、またワクチンのPRをして受診率を上げたい。

質問 高齢者体力づくりセンターに入ることのできるメンバーに制限があるが、他町村の人たちを町民の料金の倍ぐらいで利用させることは考えていないか。

健康増進課長 高齢者体力づくりセンター利用者は、「町民及び町内に固定資産を有し、固定資産税を納めている者」と条例により限定されている。

環境課 関係



大橋通りフラワーポット

ン類の環境基準である1000ピコグラム以下であり、問題ないと報告を受けている。

質問 花トピア推進事業費として1700万円と載っているが、大橋通りのプラントーに草が生えておりメイン通りのイメージが悪いが誰が管理しているのか。

環境課長 花フェスティバルが始まると前は職員も草を取った。その後、職員も管理していないような状況。機会を見て、また草取り等も行いたい。

質問 ラベンダーが終わつた後も汚く管理されていないので、地域の協力を頂くなどの根本的な対策が必要と思う。

決特 算別 委員会



町長　できるだけ近くの方に積極的にやつていただきよう皆さんから知恵をかりたい。

質問　可燃ごみ処理費削減に対する今年度の取り組みは。

環境課長　21年度と22年度8月までは家庭ごみは約5万2000トン減少している。

事業系ごみは逆に増えており、差し引き167トンの増加である。事業者に生ごみの水切りを呼びかける。

農林課 関係

質問　地籍調査事業の委託料に対する補助率は。

農林課長　算定基礎は面積と筆数である。あと、事務費等の75%を国・県から交付を受けている。

なお、20%は特別交付税、5%が町の実質負担となる。

質問　富士ヶ嶺バイオセンター建設費用はいくらか。また、現在の利用農家数は。

農林課長　富士ヶ嶺バイオセンターは旧上九一色村で建設され、用地取得から造成含め、当時10億円ほどかかっている。利用している軒数は23軒か24軒である。

質問　21年度は松くい虫はどのエリアに発生したのか。

農林課長　船津、河口、大石で発生した。

質問　有害鳥獣の被害対策について、国や県に対しても予算増額の要望をする考え



富士ヶ嶺バイオセンター

観光課 関係

はあるか。

農林課長　県の補助金の中で有害鳥獣の管理捕獲の定款があるが、その枠の中で年度途中であっても県に要望し、枠が取れれば補正対応をしていきたい。

質問　道の駅・いやしの里根場・蝙蝠穴など町直営の施設について指定管理者の導入は考えているか。

観光課長　地域住民の運営組織や指定管理者による運営について、今後検討していきたい。



いやしの里駐車場

は年間いくらか。

観光課長　年間で690万円ほどになる。

質問　莫大な町の財源をつぎ込んだりやしの里根場に所長が不在だ。早急に所長を配置すべきだ。

町長　今後検討し、できるだけ早く所長を配置したい。

質問　道の駅の公有財産購入費は、県の土地開発公社への支払いか。

観光課長　土地開発公社への償還金である。

算別委員会

都市整備課 関係

質問 木造住宅の地震対策は。

都市整備課長 県や国の耐震対策の補助金を活用してもらうよう各地区で説明会を開催している。

質問 当町には準用河川は何本あるか。

都市整備課長 県の報告書では20河川ある。

質問 道路維持費の中の委託料とは何か。

都市整備課長 除雪の委託料である。

質問 町に除雪の基準はあるか。

都市整備課長 除雪に関しては、10センチメートルを超えた時点で業者に出動命令を出す。

学校教育課 関係

質問 パソコンリース代が2千900円とあるが、小・中学校で何台のパソコンをリースしているか。

学校教育課長 小学校、中学校の生徒用及び教職員用で632台である。

質問 学校図書の評価をするのに、新鮮度という言葉を使うが、各学校図書の新鮮度を評価した数字はあるか。

学校教育課長 学校図書の新鮮度という数字は持っていないので早急に調査する。

質問 昨年、教育センターへの相談件数と内容は。

教育センター長 トータルで837件であった。内訳は電話45件、来所743回、

家庭訪問49回が実質延べ人数である。

里山環境の再生事業として今の研究の内容もその当時からの目的に合致していると思われる。

議会だより
ふじかわぐちこ

生涯学習課 関係

質問 自然共生事業で1千万円弱の金額を使っているが、その内訳は。また、町民のための結果が出ているか。初期の目的である観光客の集客のために並の研究から始まつた事業だが、現在その目的から外れているのではないか。

生涯学習課長 主なものは館長の報酬、研究している人の人件費である。自然環境を調査研究し、自然環境の本などに発表されている。

質問 教育費の体育施設工事請負費は何の施設に関するものか。

生涯学習課長 町民グラウンドの防球ネット工事、くぬぎ平の芝サッカー改良工事、精進湖のカヌー艇庫の修繕費である。

文化振興局 関係

質問 ステラシアターの運営を直営で続けるのか。

文化振興局長 以前から議会でも指定管理者の導入が議論されたが、ステラシアターの特性から指定管理者導入は考えていない。

質問 林作基金の成果は上がっているか。

文化振興局長 基金の利子、国債を運用して、昨年度は10団体に助成金を出した。

質問 文化施設管理費の保険の内容等はどうなっているのか。

文化振興局長 入場者に対する施設保険と建物全体に対し共済保険に入っている。



精進湖カヌー艇庫

国民健康保険特別会計

精進特定環境保全 公共下水道特別会計



林作公園

質問 国保税が1億7千5百万円という

大きな滞納額となっている。町長の考えは。

町長 町民の公平、公正が基本。軽減制度なども周知徹底し、同時に税の納入を促すべく努力していきたい。

質問 滞納額を抑えないと、今後の国保運営に問題が生じる。税の徴収はどのように行つていいのか。

住民課長 職員2名と嘱託2名で徴収にあたつている。前年度までの滞納額を減らすことに力を入れている。

質問 滞納者へのペナルティである短期保険証の発行枚数は。

住民課長 今年6月1日現在で248件ある。

下水道事業特別会計

質問 下水道使用料の前年度までの滞納分の収納率8.6%となつていて。徴収可能な分、不可能な分がいくらなのか、もつとしつかりつかむべきだ。可能な方から徴収する努力は当然のことであるが、同時にそれが収納率の上昇につながるよう尽力を。

水道課長 今まで画一的に行つていた部分があつた。新年度予算に向けて改善できるよう検討する。

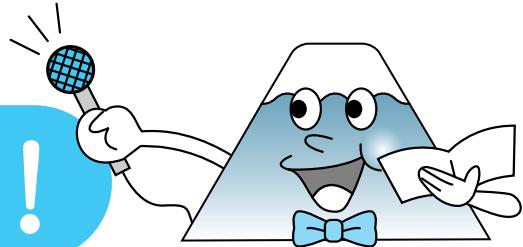
質問 本栖の下水処理場が耐用年数を超えているので精進の処理場と統合し一本化する計画のはずだが、決算ではこの予算400万円が不用額となつていて。なぜか。

水道課長 工事により自然環境を壊すことになり、環境省から許可を得られなかつた。

質問 耐用年数を超えた本栖の下水処理場を造りかえるのか。

水道課長 造りかえると数億の予算になる。ようすを見ながら必要なところは補修を行ひ、今後判断していきたい。

知りたい！ 聞きたい！



委員質問
外川 正純 議員

職員自作の薰煙器

代表・関連質問
だいひょう・かんれん

Q1 景気対策と今後の方針

質問 景気対策と今後の方針について

町長 財政が厳しい状況にあるので、今後も国や県の動向に注目しながら、当町で活用できる補助制などは積極的に取り入れ、実のある経済対策に取り組んでいきたい。

再質問 国・県の方針を凝視して、打つ手は積極的にお願いしたい。住民の声を聞くのはもちろんよいことである。しかし、行政の決断は町長である。渡辺凱保町長がすることだと思う。町長の英断があればこそ、執行部も議会もそれについていき、また町民もよし頑張ろうとなるのではないか。町長の英断を大いに期待する。

関連質問 (高山泰治議員)

来年からはまた新しい補助金制度が始まるようだが、どのような景気対策による補助金制度が行われるか。

Q2 西湖いやしの里維持管理について

質問 西湖いやしの里根場の茅葺屋根の維持管理についての現状の取り組みと見解、あわせて今後の対応策は。

観光課長 薰煙器を試行錯誤しながら自分で製作、職員が実施する。最終的には大規模な屋根のふきかえは必要となるので、それに備え、年に1000万円を目標に基金を積み立てていく計

業として、来年度から社会資本整備総合交付金があり、その事業に町として着手していきたい。



高山 泰治
議員

関連質問
(渡辺余緒治議員)
必ず計画的な基金の積み立てをお願いする。



渡辺 余緒治
議員

Q3 町うたの町民への周知、活用について

質問 今後の町うたの町民への周知、活用について、その取り組みと町の考え方。

政策局長 ピアノ伴奏用の譜面が用意でき次第、学校や保育所に配布し、子供たちに歌ってもらいたいと思っている。

なお、提案いただいた携帯電話の着信メロディーについてイルカさんやレコード会社とも相談する中で、検討していきた
い。

再質問 精進小学校など閉校になる小・中学校の校歌を看板口にして記念に残してもらいたい。

政策局長 それについては関係者と協議をする中で検討していきたい。

Q4 住民活動の支援について

質問 まちづくり企画提案事業として、地域住民による観光に資する活動を支援する補助金の申請受付がされたが、このような住民活動に対し今後も引き続き幅広く支援していく予定か。

町長 幅広くまちづくりの観点で、支援していきたいと考えている。

要望 小立・林地区でも、区民が手づくりで参加する独自の秋祭りを実施している。手づくりの山車の運行、歌舞伎の演目のヒーロー、子供も大人も演じる田舎芝居など、芸能発表大会は7年目を迎え、妙法寺境内の回り舞台で1日、老いも若きも楽しく過ごす活動をしている。そんなメンバーが妙法寺の裏庭にあるアジサイの伐採、下草刈りなど、ボランティア活動を実施する。

だれにでもできるすばらしいまちづくりのひとつである。

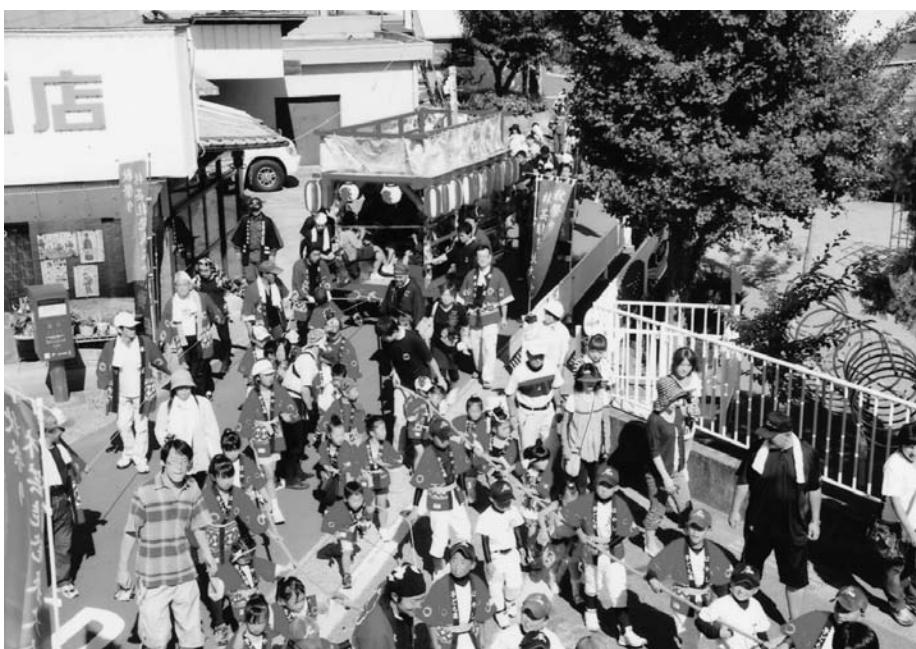
他の関連質問者



三浦 康夫
議員



渡辺 元春
議員



林地区・秋祭り



地域の茶の間で元気に楽しく

福祉推進課長 小地
域福祉活動を各自治会単位で実施している。高齢者、子どもや障害のある方も集まる場となるよう、一部の自治会に働きかけ、コミュニティカフェエモードルの第一歩になるよう行政がきつかけづくりをしたい。



大石いきやり会

富士豊茂小学校の存続に良い知恵を

町長 町長 適正配置、適正規模の答申は、子どもたちにどのような教育を与えることが適切であるかをまとめたもの。今後も富士ヶ嶺地区住民の意見を拝聴し、児童への教育、畜産中心の産業振興、高齢者福祉施策など、地域全体となり検討したい。

質問 富士豊茂小学校統廃合24年度以降に延期となつた。特色ある地域性を生かした地域・学校づくりで生徒を増やす事ができないか、地域住民と話し合いを始めよ。

質問 地域性を生かしたコミュニティカフェが全国に広がる。子ども、高齢者、障がい者、皆が毎日通えて、おしゃべり、食事、昼寝などさまざまに過ごす場所が我が家にも必要ではないか。



一般質問者
佐藤 安子 議員

一般質問

総務課長 住民ニーズが多様化・増大化する中、行政課題を処理していくために、専門性がますます要求される。職員の能力を最大限に引き出す人材育成施策の推進と効果的な実施方法等の研究を重ね、職員のさらなるレベルアップを図る。

Q1 職員のレベルアップを強く望む

Q2 交通弱者の移動の権利は保障されるべき

質問 「高齢者の買い物難民化」が浮き彫りになっている。特に富士ヶ嶺地区は公共交通機関が無く町が用意した支援バスのみである。県内3市町でデマンド交通システム（乗合タクシー）を導入し大変喜ばれている。町への導入の検討を。

政策局長 高齢者を中心とした交通弱者に対する環境整備は、行政が取り組む課題である。富士ヶ嶺地区では不便を感じている方も多いかと思う。当町は検討の必要性を認識しており、地域住民のニーズと導入費用などを総合的に勘案し、調査・研究をする。

Q1 高齢者の孤立をなくすために、町として対策の強化を

質問 経済的な大変さや病気など

渡している。

が理由で、地域や社会とのかかわりがなくなり、不安をかかえながら暮らしている高齢の方が増えている。高齢者のみの世帯は1300世帯あるが、日常の声かけや非常時の対応に努力されている保健師、民生委員の人数は、それぞれ11人、66人であり、大変な状況。町として対策の強化が必要であるが、3点について聞きたい。

① 敬老祝い金の支給方法は、直接訪問してお渡ししているのか。

② 民生委員の業務は非常に多いのが実情。町独自で委嘱してい

る福祉委員67名にも理解と協力をいただき訪問の機会を増やせるよう検討したい。

③ 老人クラブや敬老会実施への補助、老人大学の実施などに取り組んでいます。今後町としてできることは何か検討していきたい。



一般質問者
山下 利夫 議員



ふれあい福祉運動会

Q2 老朽化した水道施設の問題解決のために住民との話し合いを

水道課長

① 国会議員などへの要望を毎年実施している。一般会計からの繰り入れは、借金の償還金の分を行っており、財産区などの負担もお願いしている。近年では、大石地区や上九一色地区の水道管工事に国庫補助を得ており、各地域の要望を実現できるように、補助金を得たための工夫をしている。

② 「水道ビジョン」は、安心・快適な給水の確保、運営基盤を強化するための料金体系を考えた財政計画などである。住民アンケートの実施、広報やホームページへの掲載などを行う。住民説明会は必要という声があれば考える。

一般質問
いっぽん

福祉推進課長 ① 敬老祝い金は、90歳の方には民生委員を通して、100歳の方には町長が自宅を訪問して、いずれも直接ご本人にお

勝山児童館 母親クラブ会長
伊藤一美（勝山）

母親クラブの活動

放課後になると子ども達の元気な声であふれる勝山児童館。ここを中心として活動している母親クラブは、勝山保育園、小学校に通っている子どもの母親30名により構成されています。毎年メンバーは変わりますが、児童館活動の一環として、さまざまな取り組みを行っています。

活動としては、春の子ども祭り、夏祭り、クリスマス会など子どもたちに向けての様々な教室やイベントの開催を行っています。イベントでは手作りお菓子や、色々なゲームを提供し子どもたちにたくさん楽しんでもらおうと試行錯誤を重ね工夫をしています。準備など大変ですが、普段交流の少ない他学年のお母さんたちと時間、作業などを共有することにより、横のつながりが生まれ、たくさんの方との交流が深まりました。本来

の目的以外でしたので何よりそれはうれしいことでした。

また、その他に児童館周りの草取り作業、街かど花壇の花植えなどの奉仕活動や、町の文化祭への出展作品作りも行っています。

メンバーには働いているお母さんもたくさんおり大変ですが、たくさんの協力もありすべての活動がスムーズに運んでいます。これからも子どもたちの笑顔でいっぱいの勝山児童館になるように協力、サポートしていきたいと思っています。



議会見・聞・録

昨年改選し、新しい議員になってから何度も傍聴させて頂いています。

傍聴する前は、議会の傍聴は難しくてつまらないという思い込みがありました。とても気軽に傍聴でき、自身の住んでいる町の事を知るとてもいい機会となっています。一般質問は議員の「富士河口湖町を住みよい町にしたい」との心意気が感じられますがその反面、町がかかえる課題の大変さも考えさせられます。

多くの方が傍聴することで、議会に緊張感が生まれ、さらに真剣な議論がされる事を願っています。

（船津 野中）



議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。

早いもので、「分かりやすく読みやすい」をモットーに取り組み一年が経過しました。皆さんから「見やすくなった」「しっかり読んでいる」との声を頂き、ホッとしているところです。これから更に進化しながら議会を身近に感じて頂けるような「議会だより」の編集に取り組んで参ります。

編集後記